

保護者の方々用

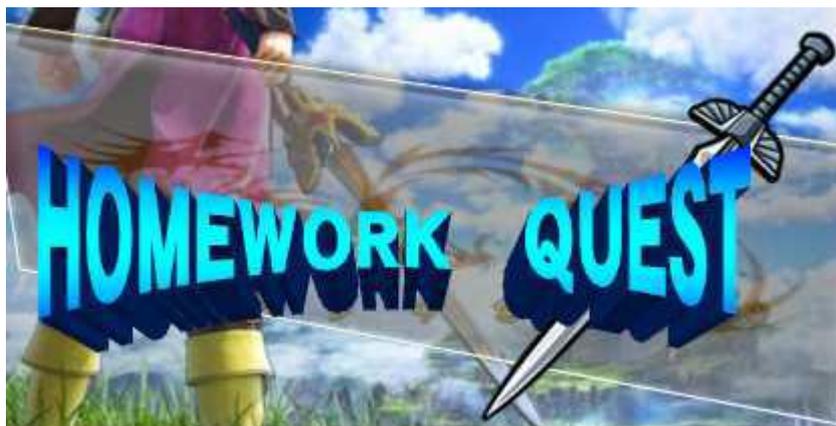
この冊子は、「家庭学習の進め方」について書かれている「SEINAN HOMEWORK」というものです。毎年4月に生徒に1冊ずつ配付されているものです。ぜひご一読いただければと思います。この冊子を参考に、お子様の家庭学習のアドバイス等に役立てていただければと思います。

令和6年度 家庭学習・評価の手引き

SEINAN HOMEWORK



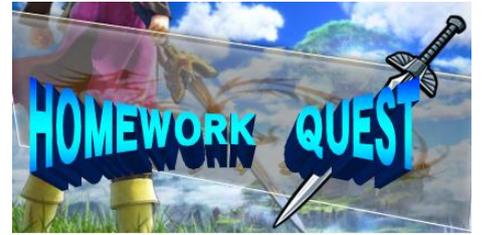
～よりよい家庭学習の進め方～



- ① この冊子を使って5教科の先生方が家庭学習について説明します。
- ② 4月の授業で扱うので、学校へ持ってきておいてください。
- ③ 授業で説明があったら、家に持ち帰り、定期的に読み返して家庭学習の参考にしていきましょう。
- ④ 家庭学習は毎日行うものです。

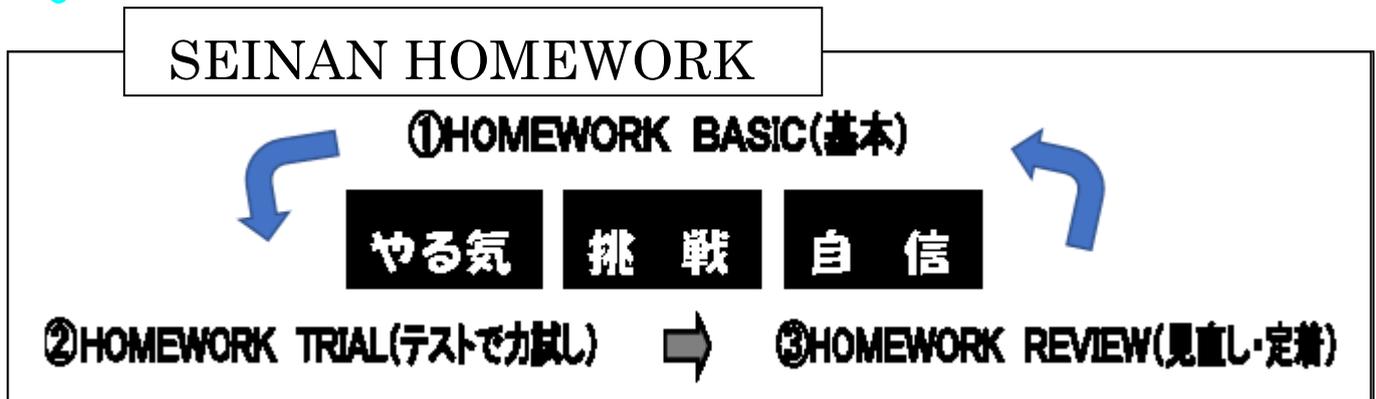
| | | |
|---|---|----|
| 年 | 組 | 氏名 |
|---|---|----|

筑北村立聖南中学校



「SEINAN HOMEWORK」

聖南中は、期間を区切ってこんな家庭学習に取り組んでいます。



☆定期テストは「学習した内容の理解チェックをする日」という意識で、
テストの日を中心に期間を決め、家庭学習を上記のサイクルで回していく。

「HOMEWORK QUEST」

～テスト2週間前(日々の学習)

① HOMEWORK BASIC 基本の学習を固める期間

- ・各教科の課題、反復練習、練習問題。
- ・「生活記録」にまとめる → 担任の先生
- ・「自学ノート」にまとめる → 教科の先生
- ・授業の要点をまとめて家庭で振り返る。

↓ (テスト範囲配布、計画表作成・提出)

テスト2週間前～

② HOMEWORK TRIAL テスト勉強に力を入れる期間

- ・「テスト勉強計画表」によるテスト勉強
- ・計画に沿って自主的にテスト勉強をする。
- ・「学習課題」は極力課さない。
- ・質問事項は「自学ノート」→ 教科の先生

↓

テスト終了後～1週間

③ HOMEWORK REVIEW 振り返って定着させる期間

- ・テスト返却後にきちんと見直す。
- ・どこができていなかったのか振り返る。
- ・「生活記録」にまとめる → 担任の先生
- ・「自学ノート」にまとめる → 教科の先生
- ・必要に応じ次の BASIC と並行して取り組む。



家庭学習を続けましょう。

家庭学習を続けていくことが大事な理由は3つあります。

- ① 授業で学んだことを忘れないように、家庭学習でもう一度学び直します。何回も学んでいくうちに忘れなくなります。
- ② 毎日続けて習慣にすることで、読むこと、書くこと、計算すること、考えることについて自主的な気持ち（興味・関心）が出てきます。
- ③ 高校進学や将来の夢への進路実現のために自分の力で学習することができるようになり、「できた」「わかった」という気持ちを育てることができます。

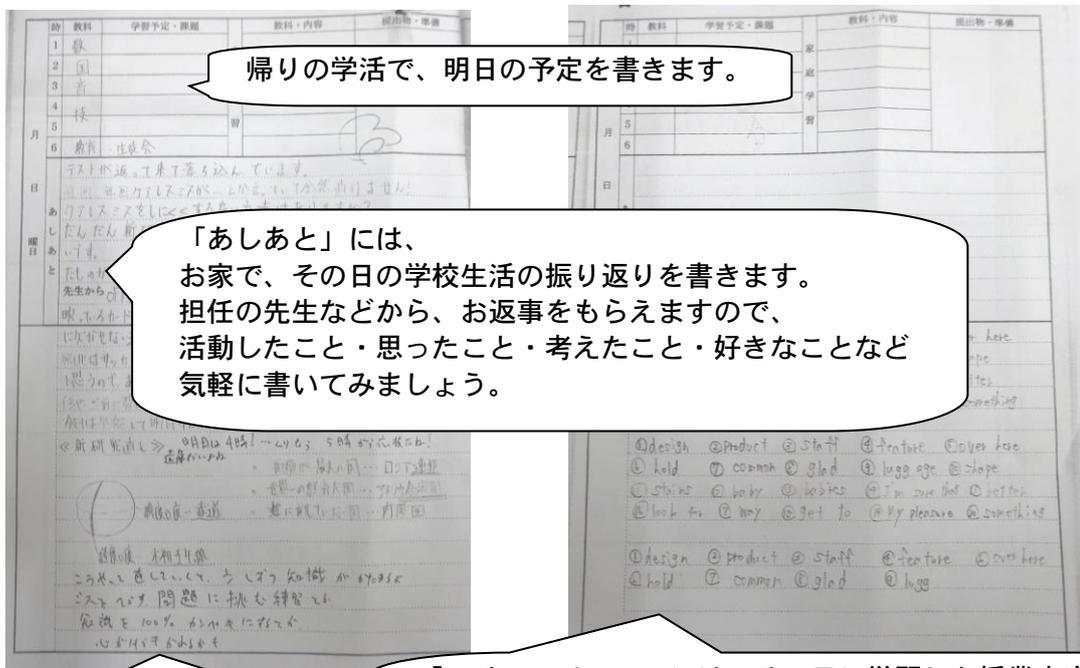
「できた」「わかった」ということが感じられるようになると、授業が楽しくなってきます。そして、さらに家庭学習もやる気ができます。このサイクルがうまく回っていくと学校生活が充実してくるでしょう。



家庭学習に取り組む前に。

下の図は、生活ノートに記述してもらいたい内容の見本となるものです。「あしあと」の

下には、「フリースペース」があります。そこには、実際に勉強した内容（用語や地名、漢字や英単語または練習問題）や家庭学習の振り返りを書いてください。



先生方から、アドバイスをもらって、自分の家庭学習に活かしましょう。

「フリースペース」には、その日に学習した授業内容や、用語や地名、漢字や英単語または練習問題などを書いて、家庭学習をしてみましょう。

- ② 家庭学習をする場所はどこですか。集中できる場所を探してください。
- ③ 学校から帰ってきて、何時に家庭学習を始めますか。決まった時間を設定しましょう。
- ④ 学習時間は学年+1時間が理想です。慣れていない人は休憩しながらやりましょう。まずは15分間集中してみて、続けられそうならどんどんやっていきましょう。



家庭学習五教科一覧 (R6.4.4 現在)

本校の家庭学習の詳細です。5教科で内容や提出に関して差がありますが、生徒・保護者・教職員が共通認識をもって、家庭学習に取り組んでいきたいと思えます。内容は4月現在のもので、今後変更していくものもあります。その場合は、授業などで教科担任から生徒に連絡していきます。

| 教科 | 家庭学習内容 | 提出について | 備考 |
|----|---|--------------------------------|---|
| 国語 | ・漢字練習 ・国語の学習 ・新研究(3年) | ・毎日 ・単元が終わる毎 ・定期的に指示を出す。 | |
| 社会 | ・授業で学習した範囲のワーク ・授業で出された課題 ・テスト前 指定されたワークの範囲 | ・毎週火曜日 ・テスト前にポイントカードで提出 | ・授業で学習した範囲のワークに取り組み、提出する。 ・1週間の間に取り組んだ自習ノートを提出する |
| 数学 | BASIC 期間 宿題プリント+提出ノート(余白に) TRIAL 期間 単元プリント・補助教材・ 受験用教材(整理と対策・新研究)を用いて、自分で選んで取り組む。 | 毎日 | ・宿題プリント以外に取り組んでもいい。 ・宿題プリント以外にも自分で問題を選んで、提出ノートの余白に取り組んでいきたい。 |
| 理科 | 水曜日～金曜日 ワーク4ページ | 1週間に一度 月曜日提出 | |
| 英語 | 単元ごと英語ラボの解答ページを使って取り組む。 3年生 新研究100題 過去問+英作文など | 3週間ごと 4月に学習計画表を配付済 | |

国語科 家庭学習の仕方

国語の学習は、「日本語」という言葉の学習ですので、
家庭学習では、「正しい日本語にふれる機会」を多くしてほしいと思います。
「日本語」ですので、国語はすべての教科学習の基礎という面もあります。
日々の授業の、一般的な予習・復習は、以下のようにするとよいです。

予習

- 1 教科書の文章を事前に読んでおき、
読めない漢字や意味の分からない言葉、疑問に思う点は印（しるし）をしておく。
 - 2 漢字の読み方や言葉の意味などを調べておく。
言葉の意味は文脈から考えていくことが基本です。
- ※ いずれも、調べてもわからなかったことは、授業でどんどん質問しましょう。

復習

- 1 授業の振り返り … 教科書の音読・ノートのとめ直し
- 2 漢字 … その日に習った漢字はその日のうちに覚える
繰り返しの練習より「覚える＝見なくても書ける」ことに重点を置きましょう。
- 3 文法・言葉のきまり … その日に習ったことはその日のうちに覚える
文法のテキストをもう一度解き直すなど、積極的に問題に取り組みましょう。
- 4 文章表現力 … 生活記録の日記を充実させる
詳しく書く、会話文を入れる、気持ちも書くなど、よりよく伝わる文章にしましょう。
- 5 問題を解く … テスト前はたくさん問題を解く
文章を読み解く力と、問題への答え方をしっかり身に付けましょう。
単元プリントを何回も解き直すことも有効な「定期」テスト対策になります。

とはいえ、上記の予習・復習を毎日行うのはなかなかたいへんです。

「正しい日本語にふれる」という点で、こんなことを意識してみてもはどうでしょう。

「日本語」への意識が高まることで、「国語力」が伸びていくと思います。

1 生活の中で「言葉との関わり」をもつ

毎日、新聞の「世相のコラム」と「言葉のコラム」を読みます。

信濃毎日新聞なら、前者は1面の「斜面」、後者は2面の「けさの一句」。

朝日新聞なら、どちらも1面の「天声人語」と「折々のことば」。3～5分で両方読めます。

新聞を購読していないという場合は、教科書を読む、読書をする、でもよいと思います。



2 正しい日本語に接する

テレビ・ラジオの「アナウンサー」の言葉を聞く。

全国放送は日本全国に通じることが前提ですので、「共通語」で制作されています。

言葉遣いはもちろん、発音やアクセントなども、正しい日本語が使われています。

ニュース番組が典型ですが、バラエティや情報番組、スポーツ中継などでも、

アナウンサーやナレーションの声を意識して聞いてみるとよいです。

ラジオは音声のみのメディアなので、正しい日本語に高い意識をもっているアナウンサーが多いと思います。

3 問題を解き、読解力と解答力を高める

「入試国語は、教室の授業とはかけ離れている。

入試国語は、試験場で初めて読む文章に、
”読解力・解答力”で向かう科目である。」

大学受験で大きな実績を上げている予備校の、
現代文の講座のテキストに書かれています。
定期テストは授業で習った教科書の文章から
出題されますが、3年生の総合テスト、そして、
高校入試は原則的に「初めて読む文章」です。
日ごろから積極的に問題にあたり、
自分の力で読み取って、
答えを書いていくことが大切です。

4 解答・解説から、正解への筋道を確認する

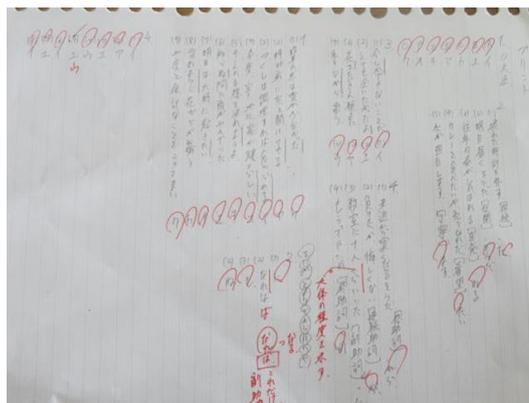
自分の読み取りがどれだけ正しいか、
逆に、誤っていたか、浅かったかを確認するのが
「復習」です。間違った箇所の答えを写すだけでなく、
誤答も正答も、解答と解説を見直して、
正解までの筋道を理解・確認しましょう。
また、答え方で減点されていないか、
答えの「書き方」もしっかり確認しておきましょう。

5 よい道具は、よい結果をもたらす

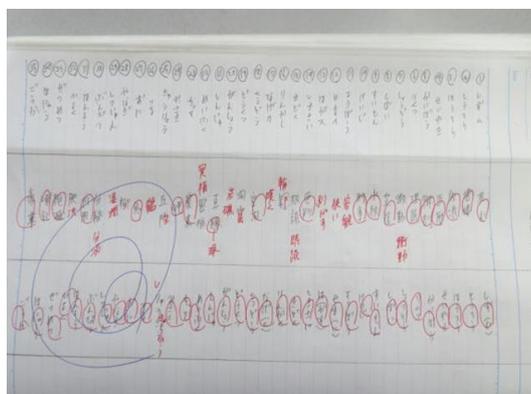


国語は様々な「筆記用具」を使って学習します。
合わせて、道具を正しく使うことも大切です。

☆積極的に問題を解きましょう!!



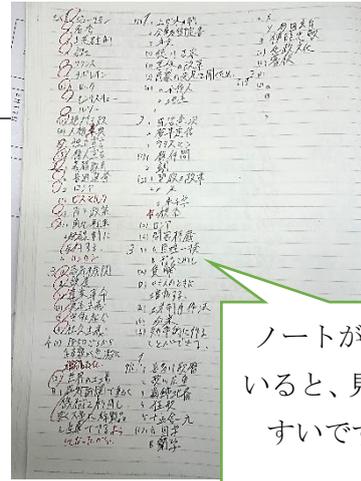
☆漢字も問題に取り組みましょう!!



社会科 家庭学習の仕方

○ベーシック（基本の学習）

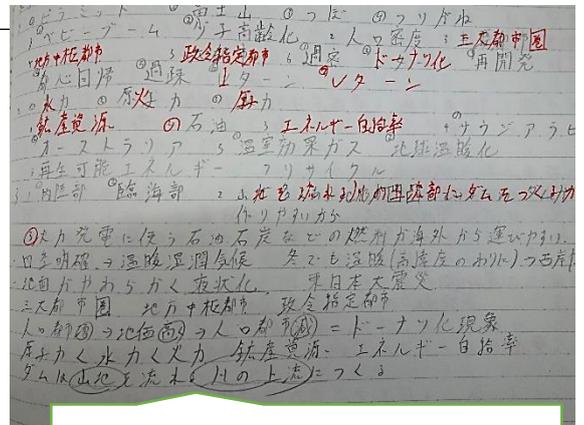
- ・授業で学習したことを、ワーク（問題集）で復習する！
ワークの「基本の確認」の問題に取り組みましょう。ノートや教科書を見て問題に取り組みましょう。
テスト勉強でもう一度問題に取り組むために、ワークに直接書き込むのではなく、自習ノートに書き込もう。
- ・間違えた問題は、繰り返し書いたり、教科書を読んだりして、確実に身につけるようにしましょう！



ノートが整っていると、見直しやすいですね♪

○トライアル（テスト勉強）

- ・ベーシックで取り組んだ問題に再挑戦！
一度取り組んだ問題に挑戦してみましょう。
教科書やノートを見ないで解いてみましょう。
わからない問題は教科書やノートで確認しましょう。
- ・間違えた問題をチェックしておいて、できるまで挑戦してみましょう！
- ・ワークの「まとめ」や「総合問題」、「記述問題」に挑戦してみよう！



間違えたところを中心に、自分でまとめ直すと力が付きます！

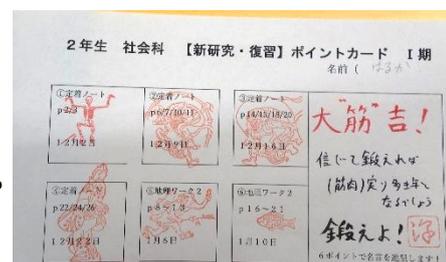
単元のうしろの方の問題に挑戦して力試ししよう。資料を見て答える問題や、記述で答える問題にきちんと取り組もう。わからない問題は先生や友だちに質問しましょう。

○レビュー（テスト振り返り）

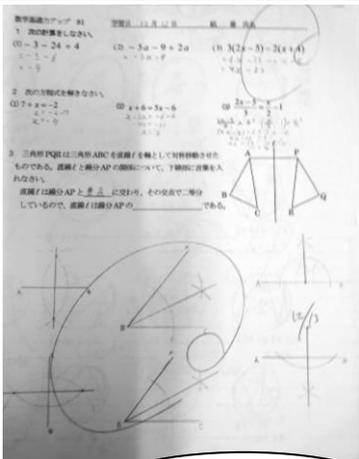
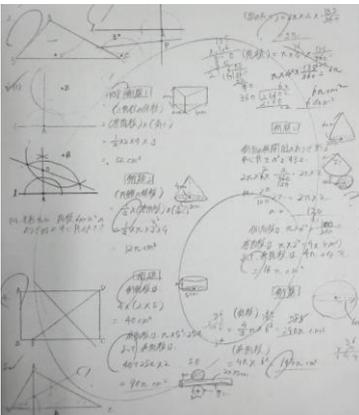
- ・テストをやり直して復習！
答えを見ないでテストをすべてやり直してみよう。
「次のテストはこうやって勉強してみよう」と、次のテストのことを考えながら解きましょう。
- ・「わからない!」「どうしたらいいの?」と思ったらすぐ質問しよう！

○きちんと提出！

- ・毎週火曜日に自習ノートを提出しましょう。
- ・ポイントカードの計画通りにテスト勉強に取り組み、ポイントを集めよう！



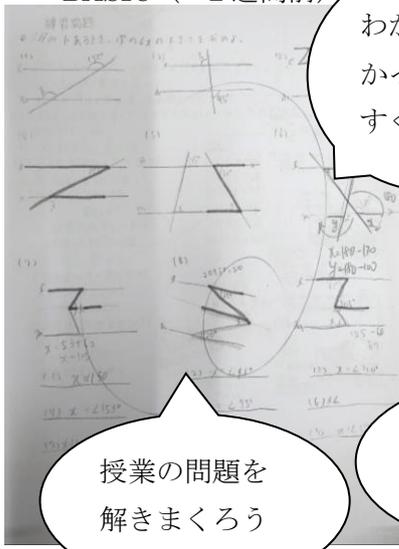
数学科 家庭学習の仕方

| | 内容 | 家庭学習のポイント |
|--------------|---|--|
| 提出するもの | <ul style="list-style-type: none"> 提出ノート(学習プリント)基礎学力定着と反復学習となる各学年対応の8問程度 補助教材の指定ページ <p>学年により学習プリントの内容は異なりますが、やり方は同様です。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 配付される課題プリントをやり、提出ノートに貼って提出します。 翌日の学習プリントの裏に答えが載るので、丸付けは前日の分について行ってください。丸付け後、間違えた問題はやり直しましょう。 提出ノートに課題プリントを貼った後、余ったスペースで、$+\alpha$学習をやりましょう。 テスト前(トライアル)は、提出ノート以外にも補助教材の指定されたページをやったり、過去問題をやったりしましょう。 |
| 家庭学習の仕方 | <ol style="list-style-type: none"> ① 学年の数学科から毎日配付される課題プリントに書き込み、提出ノートに貼ります。 ② 翌日の裏面の答えを見て、答え合わせをします。 ③ 間違えた問題はやり直しをします。 ④ 学習プリントを貼った提出ノートの余ったスペースに自主学習をします。 | <ul style="list-style-type: none"> 右の例のように答えだけでなく途中の式をかくことが大切です。途中の式をかくと、自分の中で計算順序が整理され、どのような解き方をしたのかを、明確にすることができます。 丸付けをして間違えた問題はそのままにせず、また繰り返し学習しましょう。 解き方の、どの部分を間違えたのかを明確にできれば、できない問題をできるようにすることができます。 課題プリントの下に自主学習をした例⇒  |
| $+\alpha$ 学習 | <ul style="list-style-type: none"> 課題プリントを提出ノートに貼り、残ったスペースに自分で必要と思う学習内容で取り組んでみましょう。 教科書や補助教材(ワークや新研究等)の問題を使い、授業の復習をしましょう。 自分の状況に応じた難易度を選びながら、学習していくといいですね。 | <ul style="list-style-type: none"> 右の例のように、課題プリント以外にも自分で必要と思う学習を選び、計画的に実践していきましょう。 内容は主に基礎的な計算問題、方程式や作図問題、関数や図形の応用問題、最近の授業内容などから選んで取り組んでみるのもいいですね。 右の例のようにノートに筆算をかいて、問題に全力で取り組んでいる点などを、見習いたいですね。  |

自分で選ぶ☆

HOMEWORK QUEST の時期に応じた取り組みの中で、見本となるものを例示します。

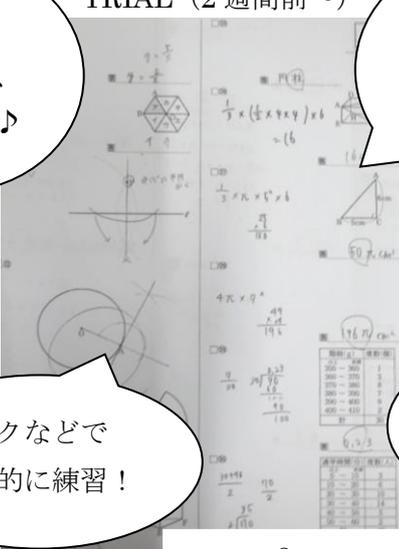
BASIC (~2週間前)



わからなかったら、すぐ質問♪

授業の問題を解きまろう

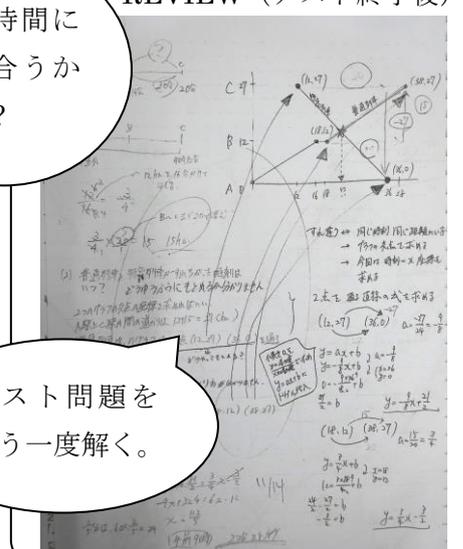
TRIAL (2週間前~)



制限時間に間に合うか挑戦!?

ワークなどで総合的に練習!

REVIEW (テスト終了後)



テスト問題をもう一度解く。

理科 家庭学習の仕方 (「書けた」⇒「わかった」にステップアップ)

- ・家庭学習の参考にする物
 - 学年のワークブック
 - 入試対策問題集 (2年生 12月~3年生)
 - その他

※週1回、月曜日に提出

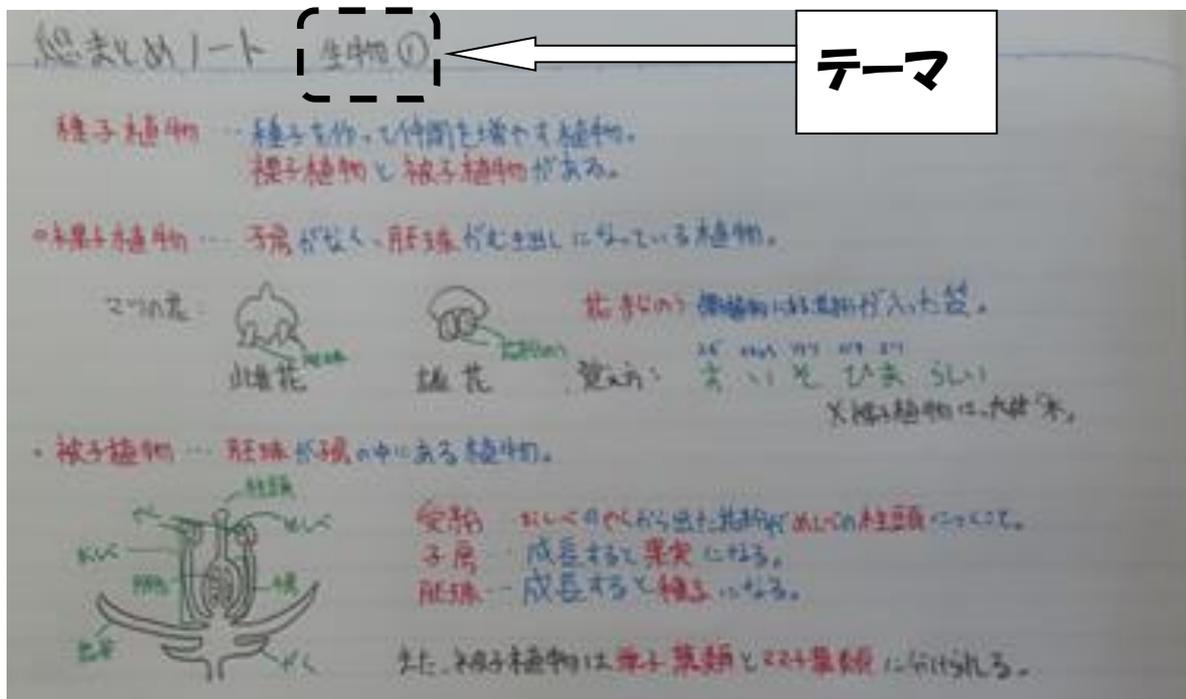
取り組み方

① HOMEWORK BASIC

あらかじめ指定された範囲から、1, 2年生はワークブックを付属のノートに2ページ分、2年生12月からは入試問題集(付属ノートまたは自分で用意したノート)に取り組む。

② HOMEWORK TRAIL

自分の弱い部分や伸ばしたい部分を自分で考え、ワークブック以外から問題を探してきて別のノートに取り組む。教科書等をまとめる学習でもよい。何をテーマに学習するのか、ページの上に明記してから取り組む。



↑まとめる学習の例。問題を解いてもよい。必ずテーマを書く。

③ HOMEWORK REVIEW

テストの見直しをする。理解したところで、間違えた問題をもう一度解いてみる。

問題を解く場合には以下の通りにやりましょう。

<取り組み方>

- ①何も見ずにやる
- ②教科書や授業で使ったもので調べながらやる
- ③答え合わせをする
- ④間違いを赤で直し、なぜ間違ったのかを説明する。

※それでも分からないものについては、仲間か先生に教えてもらうと効果的です。

英語科 家庭学習の仕方 家庭学習メニュー

※教科書音読練習【毎日】(ある程度まとまった分量の英文を読むことが大事)

※ノートにその日の曜日と日付を書く【毎日、英語で】

1. 音読筆写

声を出して読みながら文章を書く。

2. 速写

時間を決め、できるだけ速く書き取りをする。1文だけでなく、教科書1ページを書くとさらに良いです。

例： I went to Fukui with my family two weeks ago. This is a picture from a dinosaur museum. We arrived at the museum at 9:30. Many people were looking at the tyrannosaurus. Later, we tried fossil hunting near the museum. I found some fossils of animals and plants. It was a lot of fun.

There are many good restau (3分)

3. 新出単語を使って英文作成

例： English is **interesting**.

↑ 新出単語

4. 先生への質問(疑問に思ったことを余白などに書きましょう。)

5. 穴埋め文を作り、音読した後に穴埋めをする。

例： I () to Fukui ().

6. 授業で扱った学習カードや、授業で学習したことのまとめ

7. 疑問文や否定文を作る。教科書の英文を使って、肯定文を疑問文や否定文に書き換える。

8. 英作文(新出表現を盛り込んでいこう)

9. ワークブックで予習・復習をする。(英文は全文書き取る)→ノートに

10. 教科書の書き取りと新出単語のまとめ

11. 日記を書く。

上記のものを参考に、自分にとって何が必要かいくつか選択し、自主学習を進めていきましょう。

単語練習や教科書の英文を書くのであれば、最後に単語テストや英文テストを自分で作って答え合わせをしましょう。